

## 太陽光システム専用 電源用SPD

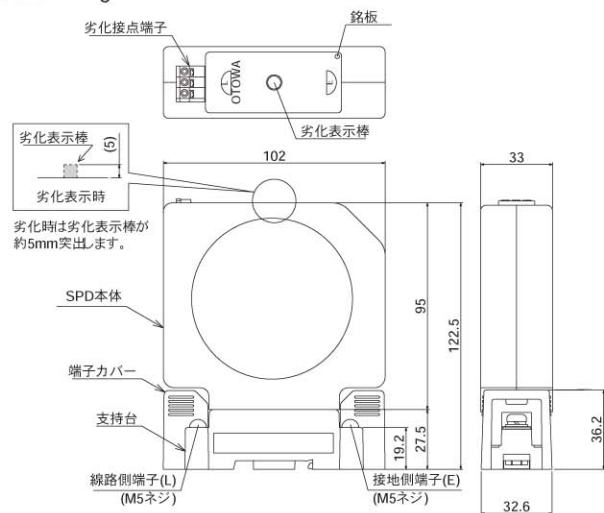
国土交通省 建築設備設計基準 適合品 新製品  
一相形  
クラスI・II (JIS C 5381-1) 対応

### 特長

1. 大きな保護能力  
インパルス電流 $I_{imp}$ 25kA、直撃雷による被害から施設、設備を保護します。
2. 電圧防護レベルは2500V以下
3. 無続流で、優れた応答特性  
応答速度：3nsec以下
4. 10/350 $\mu$ s波形のクラスI 試験に合格
5. RoHS対応

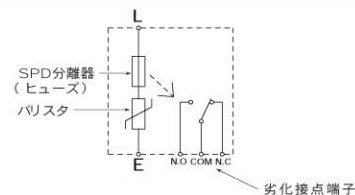
### 外形寸法図

LD-D62EFS  
質量：700g



### 回路図

LD-D62EFS



### 形式

LD-D62EFS

S: 劣化表示・接点出力端子付き

F: 自動切離装置付き

インパルス電流 ( $I_{imp}$ )  
2: 25kA

6: 660V

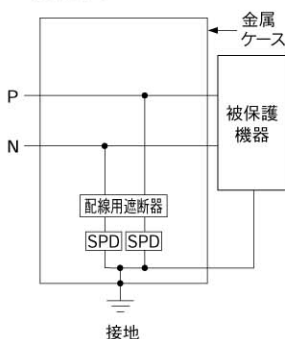
### 特性表

形 式	LD-D62EFS	
最大連続使用電圧 $U_c$	660V DC	
公称放電電流 (8/20 $\mu$ s) $I_n$ 対地間	25kA	
インパルス電流 (10/350 $\mu$ s) $I_{imp}$ 対地間	25kA	
電圧防護レベル <sup>(注1)</sup> $U_p$ 対地間	2500V以下	
動作開始電圧 <sup>(注2)</sup>	900V以上	
使用温度範囲 $T$	-40°C~+60°C	
外郭の保護等級 (IPコード)	IP20	
使用電線範囲 <sup>(注3)</sup>	8mm <sup>2</sup> ~22mm <sup>2</sup>	

● JISでは直流用SPDの評価方法を規定していないため、JISの試験方法を基に直流にて評価  
注1) 25kA(8/20 $\mu$ s)印加時  
注2) 直流6mA印加時の動作開始電圧を示す。  
注3) 推奨電線は14mm<sup>2</sup>

### 取り扱い

#### 1. 使用例



万一SPDが破損した場合、およびSPDの点検時に他の機器への影響を防止するために次の事項を厳守して下さい。

- (1) 金属ケース (推奨: 透明窓付きの金属製分電盤) に入れて下さい。
- (2) SPDの点検用スイッチとして、上図に示す様に、SPDの電源側に225AF・定格225AT以上の配線用遮断器 (MCCB) を取り付けて下さい。  
配線用遮断器の定格遮断容量は以下の通りとして下さい。
  - SPDを主幹器具の二次側に設ける場合: 5kA以上 (国土交通省建築設備設計基準 平成21年版より)
  - SPDを主幹器具の一次側に設ける場合: 主幹器具の定格遮断容量に合わせる。
- (3) 客先指定のある場合は、その指定に従って下さい。